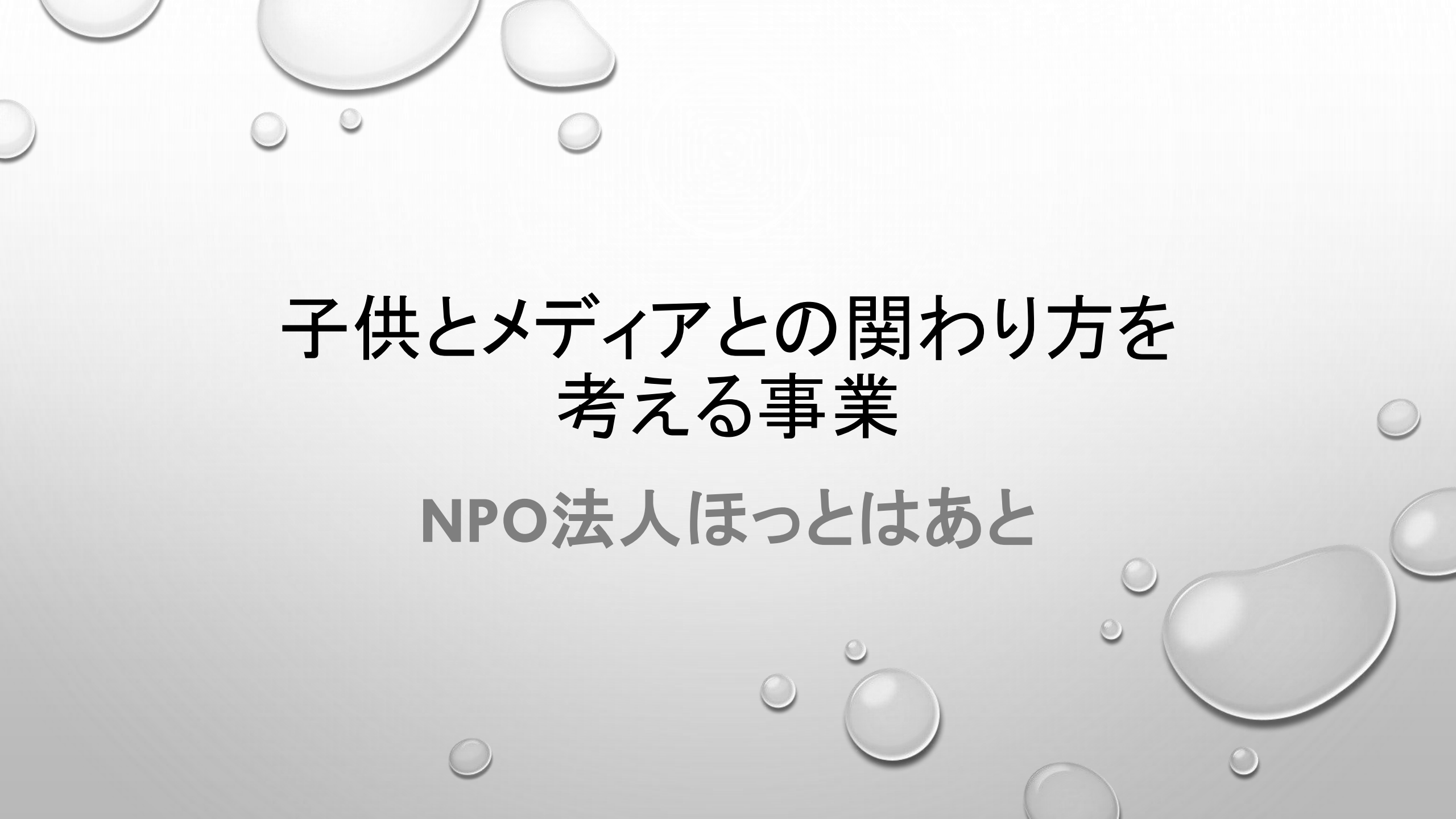


The background of the slide is a light gray gradient with several realistic water droplets of various sizes scattered across it, primarily concentrated in the top-left and bottom-right corners.

子供とメディアとの関わり方を 考える事業

NPO法人ほっとはあと

事業概要

- 子どもとメディアのかかわりと遊びを通して子どもとの関わりを再認識し、メディアによって奪われているもの（愛情形成 親子の時間 子供の時間 育児能力）について考える機会と、遊びの重要性の再認識を促し、子供とメディアについての提言を作成する。

何が問題？ 何が大切？ ～子どもの生活と「メディア」～

子どもと「メディア」の関係が、小児科を併せめとして、今！最新のトピックス
でもーどう付き合ったらいいの？スマホを渡ってどうということ？何が大切なの？
「メディア」と上手に付き合っていく方法を、一緒に考えてみませんか？

講師：筑紫女学園大学
原 陽一郎 准教授

内容：子どもの生活と「メディア」について
「メディア」が子どもに及ぼす影響についても
分かりやすくお話しさせていただきます！

参加費：無料

※資料の準備の都合上、必ず
お申し込みをお願いいたします。



原先生のプロフィール

所属・職位 筑紫女学園大学人間科学部人間科学科
人間形成専攻・准教授

NPO 子どもとメディア専科理事

福岡教育大学大学院教育学研究科学校教育専攻修了
大学時代からこだわってきた「保育」の学びと、
保育所保育士・学童保育指導員・幼稚園の先生母子
通園施設（無認可）などでの実践経験を通じて、
保育士仲間を育てるのに貢献を続けています。

著書 『抱っこしてもいいの？』

山田真生子・原陽一郎 エイデル出版所 2007

『子育て 絆を紡ぐ保育実践』

内田健夫・牧野英樹・小森菜保・太田麻志・

原陽一郎・石木和子 エイデル出版所 2011

第1章 講演会

日時	対象	場所	問合せ・申込み先
9月8日(金) 10:00 ～ 11:45	・子育て親子に向けたメッセージ ・定員30名程度 ※お子さんと一緒に参加できます	山手ふれあいセンター (総社市地蔵山147)	山手保健センター内 ちびっこひろば TEL/FAX 0866-93-9834
9月8日(金) 13:30 ～ 15:30	・子育て支援の方に向けたの メッセージ ・定員30名程度 ・子育て支援者として大切なお話しです ※毎月あります	山手ふれあいセンター (総社市地蔵山147)	Gmail npochoheart2015@gmail.com 
9月9日(土) 10:15 ～ 12:00	・パパ・ママへのメッセージ ・定員30名程度 ・プレパパ・プレママも来てね！ ※お子さんとも一緒に参加できます	なかよし広場 びよこっこ (総社市門田187 天満堂ハピータウン リブ総社店 3F)	なかよし広場 びよこっこ TEL/FAX 0866-31-7686



主催：NPO法人ほっとはあと
問合せ：総社市地蔵山143-1 ☎0866-93-9834
共催：NPO法人きよね夢てらす 子育て応援こっこ
※この事業は、総社市市民啓蒙事業により開催します

子供とメディアに関する講座

子どもの生活と「メディア」～何が問題？何が大切？

～ メディアが子どもに及ぼす影響と、

上手な関わり方を学んでみませんか～

講師：筑紫女学園大学 原陽一郎 准教授

9月8日午前 保護者42人 午後 支援者 15人

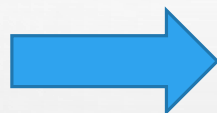
9月9日午前 パパ、プレママパパ向け 44人 計101名

受講アンケート

受講前後で意識は変わったか？

変わった **93%**

メディア無くしては難しいこともある。



メディア以外の事での工夫を考えたい。

変わらなかった **7%**

もともとメディアには触れさせていなかった。

メディアの視聴時間

○現在メディア視聴2時間以上**93%**

少しの視聴なら問題ない



時間を短くしよう ノーメディアに取り組む

○現在メディア視聴2時間以下**7%**

もともと少なかったがもう限界かなー



ノーメディアを継続したいと思う。

ワークショップ

「メディア」との長時間接触による影響について考えるワーク

9月 26日 山手公民館

10月 18日 サンワーク

11月 10日 きよね夢てらす

こどもと遊びについてのワーク

10月 2日 山手公民館

10月 25日 サンワーク

11月 17日 きよね夢てらす

参加者延べ人数 ……61名(参加申し込み67名)



平成29年度 総社市市民提案型事業

子どもの生活と「メディア」 ～何が問題？何が大切？～

参加者

子どもと「メディア」の問題は小児科をはじめとして、今1番のトピックス
ゲーム・TV・スマホ・ブルーライトの問題など子どもたちの生活や脳に何が起きているのか
子どもたちの『遊び』の世界について一緒に考えてみませんか？

第1章 講演会・・・各部定員30名程度（託児なし）・・・受付各回の15分前～

日時	対象	場所	講師
9月8日(金) 10:00～11:45	子育て中の親へのメッセージ ※お子さんと一緒に参加できます	山手ふれあいセンター (総社市地頭片山147)	筑紫女学園大学 人間科学部 人間科学科 人間形成専攻・准教授 講師：原 隆一郎 先生
9月8日(金) 13:30～15:30	子育て支援の方へのメッセージ ※託児はありません	山手ふれあいセンター (総社市地頭片山147)	題目：子どもの生活と 「メディア」について
9月9日(土) 10:15～12:00	パパ・ママへのメッセージ プレパパ・プレママも来てね！ ※お子さんと一緒に参加できます	なかよし広場びよっこ (総社市門田187 リブ総社店3F)	

第2章 ワーク・・・定員 各日12名（託児あり10名程度）・・・受付9時45分～

☆ワークショップ「メディア」との長時間接触による影響について考える ※ティータムあり

	日時	場所	ファシリテーター
①	9月26日(火) 10:00～12:00	山手公民館 託児(山手保健センター内)	市のほの育てはととはあと 市村 みみこ 市のほの育てはととはあと 西 容子
②	10月18日(水) 10:00～12:00	勤労者総合福祉センター 託児(勤労者総合福祉センター内)	NPO法人ほの育てはととはあと 岡田 浩美 親育ち応援学習「びよっこ」 見持 由美江
③	11月10日(金) 10:00～12:00	きよね夢てらす 託児(きよね夢てらす内)	子育て応援っこ 福光 節子 子育て応援っこ 田口 亜衣子

※上記日程の内容は同じです

第3章 ワーク・・・定員 各日12名（託児あり10名程度）・・・受付9時45分～

☆ワークショップ「こども」と「遊び」について考える ※ティータムあり

	日時	場所	ファシリテーター
④	10月3日(火) 10:00～12:00	山手公民館 託児(山手保健センター内)	市のほの育てはととはあと 市村 みみこ 市のほの育てはととはあと 西 容子
⑤	10月25日(水) 10:00～12:00	勤労者総合福祉センター 託児(勤労者総合福祉センター内)	NPO法人ほの育てはととはあと 岡田 浩美 親育ち応援学習「びよっこ」 見持 由美江
⑥	11月17日(金) 10:00～12:00	きよね夢てらす 託児(きよね夢てらす内)	子育て応援っこ 福光 節子 子育て応援っこ 田口 亜衣子

※上記日程の内容は同じです

第4章 講演会・・・定員30名程度（託児なし）・・・受付各回の15分前～

日時	対象	場所	講師
11月21日(火) 10:00～11:45	子育て中の保護者 ※お子さんと一緒に 参加できます	山手保健センター (総社市地頭片山143-1)	NPO法人 子どもたちの環境を考えるひこうせん 代表理事：赤迫 康代 先生 題目：遊びで育つ子どもの心 ～子どもが夢中になっている遊びを 観察してみましょう～

「メディア」との長時間接触による影響について考える

- ・ ワークショップ

メディアが子供に及ぼす影響について

子供たちの視覚に異変が・・・ 浮かび上がって見えますか？



子どもとあそびについて考えよう

ワークショップ

メディアはどんな世界観をあたえているのか？

こんな映像を見た時、ママの声掛けは？







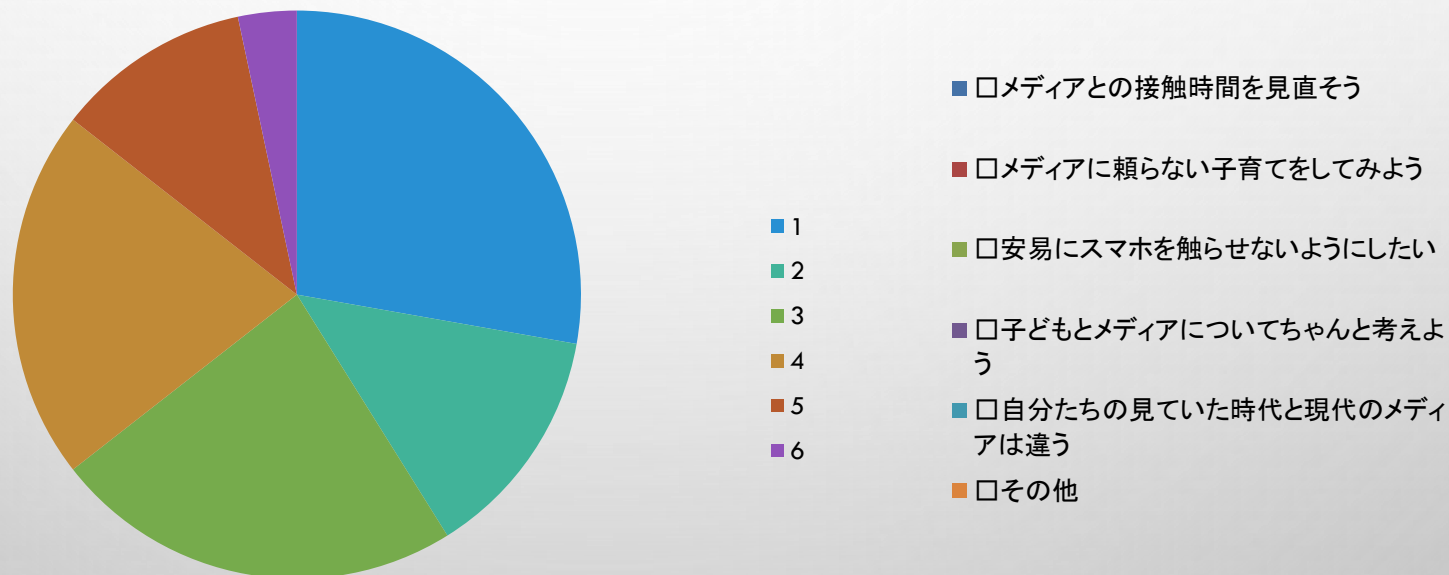
様々な理由でメディアOK 93%

受講前



メディアとの付き合い方を考えたい・・・93%

受講後



保護者の変容

- アンケート結果
- 受講前と考えがかわったか？
- 変わった93%
- ・ 少なから見せるのは仕方ない
- 変わらなかった7%
- もともとメディアは控えていた。



メディアの時間を減らそう

遊びで育つ子供の心 講演会

- 遊びで育つ子供の心 講演会
- 講師NPO法人こどもたちの環境を考えるひこうせん
- 代表 赤迫康代 先生
- 日時:平成29年11月21日参加者22名
- 子どもにとってメディアは遊びにならないことに気付けた・・・96%

2回の講演会とワークショップを終えて

- なぜメディアがいけないのか
- 子ども番組ならいい 知育になる
- 子供が静かにしてくれる。



メディア以外の遊びを考える
メディアに頼らない 97%

メディアは子供の遊びにはなっていない
失われる大切な時間

受講後半年後の保護者の様子

ワークや、講演を思い出して、頑張っている。

時間は短縮できている。

意識をするようになっていく

60%の保護者に変容は継続

93%の保護者は、時々思い出して意識をしている

まとめ

今回の事業は

受講した保護者の93%がメディアへの意識変容から 実行を初めている

半年後も意識を持ち継続している保護者は60%を占め、時々頑張っている保護者は93%

子育て支援ひろば、親育ち応援プログラムファシリテーターの活用により、

多くの場所での啓発活動が可能

子どもの健全な発達へのきっかけ となった。

総社市における子供とメディアについての提言

溢れる自然の体験と親子の時間を大切に、子供の遊びを考え、上手なメディアとの関係を保ち、より豊かな、人間育成を行っていきましょう。

メディア以外の遊びを子供と一緒に楽しみましょう。

さあ、外に出て、この総社の豊かな大自然と一緒に子育てをしましょう。

(TECHNOLOGY WILL NEVER REPLACE LOVE)

どんなテクノロジーも愛にはかなわない

皆さんの 身近な人にも
是非、声掛けをしてください！！

御清聴ありがとうございました。